

【NEWS RELEASE】

2020年2月21日

SMBC日興証券株式会社

鹿島建設株式会社のグリーンボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、鹿島建設株式会社(代表取締役社長:押味 至一、本社所在地:東京都港区、以下「鹿島建設」)が発行するグリーンボンド(以下「本グリーンボンド」)の引受けにおいて、事務主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント*1を務めることになりましたのでお知らせいたします。

鹿島建設は、「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、社会とともに持続的に成長し企業価値を向上させるためのマテリアリティ(重要課題)を特定し、SDGs への貢献をはじめとした社会課題の解決に積極的に取り組むことを通じて、まちづくり、建造物の構築や社会インフラの整備の分野で品質に優れたサービスを生み出し、提供し、そして供する仕組みと体制を整備することにおいて、世界で最も評価され、信頼される企業を目指しています。

鹿島建設は、マテリアリティ(重要課題)に対する具体的な取組みの体現として、「中期経営計画(2018-2020)」を公表しています。この「中期経営計画(2018-2020)」の中で、「自社と顧客の事業活動を対象とした環境・エネルギー環境への取り組み推進」のために、鹿島環境ビジョン「トリプル Zero2050」を策定し、低炭素社会・資源環境社会・自然共生社会の実現に取り組んでいます。

今般、鹿島建設は建設業界のリーディングカンパニーとして、環境に関する当社の先進的な取り組みを幅広いステークホルダーの方々により一層ご認識いただくべく、グリーンボンドを発行することとしました。

本グリーンボンドの発行により調達された資金は、横濱ゲートタワー(CASBEE*2 横浜 自己評価 A クラス)及びKTビル(CASBEE S クラス第三者認証・BELS 認証五つ星*3・国内のオフィスビルで初の「ZEB Ready*4」を取得)の建設に係るプロジェクトのリファイナンスに充当される予定です。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGs ファイナンス室」を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるグリーンボンド及びSDGs ファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本におけるESG投資、ESGをテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本グリーンボンドの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

- ※1 グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティー・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- ※2 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構(IBECE)により認定された認定評価機関において、その評価結果の妥当性を認証する第三者認証制度。
- ※3 建築物省エネルギー法第7条に基づき、住宅・建築物の省エネルギー性能を評価・表示する第三者認証制度。
- ※4 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)は、消費エネルギー量の削減及び創エネによるエネルギー収支ゼロを目指した建築物。ZEB Ready は ZEB を見据えた先進建築物として高効率な省エネ設備を備えた建築物に付与される認証

【今回発行される鹿島建設株式会社第46回無担保社債（鹿島建設グリーンボンド）の概要】

名称	鹿島建設株式会社第46回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
別称	鹿島建設グリーンボンド
年限	5年
利率	0.110%
発行額	100億円
条件決定日	2020年2月21日
払込日	2020年2月28日
償還日	2025年2月28日
取得格付	A+(R&I)
事務主幹事	SMBC日興証券株式会社
グリーンボンド・ ストラクチャリング・ エージェント	SMBC日興証券株式会社

以上